

七五三祈祷会にて子どもたちの身体健全・福德円満を願う



節目の歳を迎えた子どもたちの身体健全・福德円満を祈願し七五三身体健全祈祷会が厳修されました。期間中は多くの家族連れが参拝し、晴れ着に身を包んだ子どもたちが色づき始めた秋の境内を一層華やかにしました。

高齢者の八割は自宅で最期を迎えるといつて思っているらしい。が、現実は病院が八割だと最近の調査にある。延命目的だけで、さまざまな医療器具につながれた苦しい終末も多い。如実に思つのが、作家志賀直哉さん。元気なころ、よく安楽死を口にしたという。葬儀は簡素にと望んだが、汚い骨つぼだけは嫌だと、生前に有名な陶工に作らせた。だが死期を迎えると、医者が馬乗りになつて必死の人工呼吸を施した。葬儀には千人以上の弔問客が集まり、骨つぼ

ある医師の本に「高齢者は死ぬ時のシナリオをいくつか用意せよ」とあつた。例えば、期待に胸を彈ませたまま急に倒れ、そのままあの世へ。しかし、そんな幸せな死の方はまずない。西行法師は「満開の桜の下で満月の夜に死にたい」という願いを見事に叶えたそうだが、普通はこうもうまくは運ばないであろう。

昨年、ベルギーで未成年の子の安楽死法案が可決された。親と当人の同意が不可欠だが、年齢制限を撤廃して生死に踏み込むのは世界初だという。医療もここまできたかと思うと同時に、人の生き死にを正に人の手に委ねる怖さも感じる。先日もアメリカで余命半年を宣告された一人の女性が尊厳死を遂げ、世間に賛否を呼んだ。

当人のいの生死の議論に答えなど出やしない。ただ、家族間で或いは近しい人同士で交わされた最後の会話を思うと、本当に胸が痛い。（森田）

ハ事山文庫

2014年12月号

発行所

真言宗
ハ事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>
TEL052-832-2801
FAX052-832-8383

2612号
毎月末日発行

杜のコラム

今月の特集

- ☆ 寺通「旅の行者お遍路さん」……2ページ
- ☆ お正月は興正寺へ行こう!……4ページ
- ☆ 縁日さんぽ最終回「諸堂干支参り」……14ページ

除夜の鐘 12月31日 23時45分より

「遍路」の名は、四国のかなで海岸で行われていた修行の歴史が関係しているのですね。



佛教の修行のひとつに、海の彼方にあるとされる觀音さまの住まい「補陀落淨土」へ渡ることを目指す行がありました。修行者は伊豫、讃岐、阿波、土佐と四国の厳しい海岸沿いの路を歩き、その路や土地のことを「辺地」と呼んでおりました。この補陀落淨土に至るための修行は、のちに大師信仰が四国に広まるにつれ、お大師さまを思い四国を巡る現在のような遍路へと姿を変えてゆくこととなります。

当初、海辺の道や土地を表す言葉であつた「辺地」は「偏禮」「邊路」と名を変え、その後「遍路」と呼ばれるようになつていきました。

「遍路」の名は、四国のかなで海岸で行われていた修行の歴史が関係しているのですね。

他にも首笠、納札、五鈷鈴などがありますがまたの機会に説明します。前に紹介させていただいたお参り七つ道具もお持ちください。

前回弘法大師と知多四国八十八ヶ所靈場のお話しをしました。今回はその靈場をまわられる「お遍路さん」についてお話をさせていただきます。

この「お遍路さん」がそもそも何故お遍路さんと呼ばれているかご存じですか？

旅の行者 お遍路さん

高野 正清



さて、お遍路さんの姿を見てみますと参拝に来られる方と少し恰好が違うと思います。

まず目に付くのは「白衣」です。

遍路の衣装が白衣であるのには

いくつかの由来があります。遍路

の元となる修行がもともと死出の修行であつたこと。昔は整備された道もなく

獸道を進むようなもので、巡礼は命がけだつたこと。病を持つ者や老人も多く、道半ばで行き倒れる人も多かつたこと。

遍路に出る人々はいつどこで死んでもいいようにと、常に白装束を装うようになったそうです。

次にお遍路さんが持つている杖です。

これは「金剛杖」と言ってお大師さまの分身となります。頭部の五輪部は俗身にふれないよう白布や金闇で巻きます。

宿に着いたら先の汚れを落とし、上座に立てかけ、その前でご法要をあげましょう。

(ここでいうご法要とは、今日も無事にお遍路が出来たことをお大師さまに感謝する経です)。橋の上では杖をつかないのが約束で、これは弘法大師が十夜ヶ橋の下で野宿をしたことが由来です。橋の下にいるお大師さまの眠りを妨げないように: : という心配りからの習慣であります。

今月はお遍路さんの話をしまし
たが、お一人で行かれるよりもたく
さんの人で行ったほうがもつと樂
しい! というわけで興正寺団体参拝
のご案内です。来年はお大師さま特集
ということで、名古屋二十一大師
から知多四国八十八ヶ所、高野山と
いろいろなところに参ります。お時間
が許す方は是非とも参加いただき、
ご縁を結んでいただけたらと思
います。 詳細はお隣のページへ!



今日はいろいろ持ち物の話をしまし
たが、大切なのはお遍路の心「同行二
人」。お大師さまと二人づれ、共に旅路を
歩んでいくのです。大いなる自然の中で
自分を見つめ直し、すべてのこと感謝
する。そんな遍路旅になることを心より
御祈念申し上げます。

合掌



金剛杖 大切な杖の頭部(五輪部)は白布や金闇で巻きます。

平成27年度 興正寺年中行事

六月		五月		四月		三月 十八~二十四日 春季彼岸会				二月		一月					
	朱		朱		朱		(お中日)	二十一日	五・十三日	三日	一日	朱	五日	一・五日			
二十七・二十八日	観音会	一日	二十五日	十三日	二十六日	六・十二日	五日	三日	二十二日	（お中日）	二十一日	五・十三日	能満堂秘仏開扉	星祭御札祈祷会	節分厄除祈祷会		
二十九日	夏安居開始	田花まつり(旧暦四月八日)	同行永代経	御正當(旧暦三月二十一日)	大般若經転読祈祷会	結縁灌頂(金剛界)	旧涅槃会(旧暦二月十五日)	被岸永代祠堂法会	佐羅陀淨苑慰靈法会	人形・仏具供養会	圓照堂慰靈法会	永代祠堂紐解法会	動物慰靈法会	招福豆まき大会	大般若經転読祈祷会	新年初祈禱会	修正会

十二月		十一月		十月		九月 二十~二十六日 秋季彼岸会				八月 十~十五日 盆合同供養会 十三~十五日 孟蘭盆会				七月		十三~十五日		
	朱		朱		朱		(お中日)	二十三日	二十四日	十六日	十五日	十二日	朱	三十日	二日	盆施餓鬼法会		
三十一日	一・五日	二十八・二十九日	五・十三日	二十七日	二・二十七日	（お中日）	二十日	五日	二十四日	十六日	布薩会	夏安居結願	佐羅陀淨苑地藏盆	精靈流し・盆踊り	初盆合同供養会	観世音菩薩九万九千日	七・十五日	七・十五日

高野山開創1200年記念
平成27年は 
お大師さんといっしょ日

興正寺団体参拝は當寺僧侶が随行し、
 一緒にお経をつとめ、バス中では法話もございます。
 どなたでもお気軽にご参加いただけます。
 お寺やお坊さんを身近に感じていただき、
 仏縁を深めていただければ幸いです。

平成27年度団体参拝予定

◆名古屋二十一大師靈場巡拝(日帰り)

3月 名古屋市内を中心とした二十一大師靈場と
名古屋七福神を巡拝いたします。

◆高野山参拝

(日帰りもしくは一泊二日)
5月18、19日

平成27年は高野山開創1200年という特別な年になります。それにあわせ、伽藍金堂の薬師如来、金剛峰寺持仏の弘法大師座像も御開帳されますのでこの機会にぜひご参加ください。

◆知多四国靈場巡拝<全5回>(日帰り)

第1回4月 第2回6月 第3回7月

第4回9月 第5回10月

知多半島は、弘法大師が東国ご巡錫の途中に上陸された聖地です。全5回にわたって194kmもの行程をお大師さまと歩みます。

おみやへりに
いこみやあ
season2

お正月は興正寺へ行こう！

早いもので師走に入りました。平成二十六年、どんな一年でしたか？
なんとなく忙しい十二月ですが、新たな一年を迎える前に今年をしっかりと振り返る時間を持ちたいですね。
さて、今月のおみやへりに行こみやあ！は興正寺のお正月大特集！ご家族そろってお越しくださいね。

◇新年初遊び

「お寺で過ごすなつかしのお正月」

平成二十七年一月一日～四日十時～十五時

大書院や大日堂ひろば・光明殿など境内各所にて、
なつかしの遊びでお正月を過ごしましょう

心あらたまる竹翠亭でのお正月迎え

金粉入りお抹茶と「正月菓」で

おもてなしします

・福笑い

・羽根つき・コマ回し
・凧揚げ・竹馬



◇新年初祈禱会

一年のはじまりに、皆さまの幸せや健康、心願成就をご祈祷申し上げます。初祈禱を受けられた方には、「特別祈禱札」「五重塔根付御守」の授与がございます。家族揃つて、新たな一年の始まりに八事山興正寺へお参りください。



特別祈禱札・五重塔根付

本堂にて特別護摩祈禱厳修
一月一日(木)
零時、一時、十時、十一時、十三時、十五時
一月二日(金)～四日(日)
十時、十一時、十三時、十五時

◇大般若經転読祈禱会 1月5日(月)10時30分より本堂にて

大般若經とは、玄奘三藏法師が17年掛けてインドより持ち帰り、14年掛けて訳したといわれる、600巻・文字数60億3千万語におよぶお經です。「転讀」という特殊な読み方をし、その功德を以て国家安寧や厄除・身体健全をご祈願いたします。

祈禱奉納金 お一人さま 1,000円 申し込みは本堂受付にて(事前の申し込みも可)

お正月 奉納餅のご案内

新年を迎えるに当たり、本堂・圓照堂・諸堂に奉納する鏡餅を募集しております。

奉納餅 大 10,000円

奉納餅 3,000円



*ご奉納頂いたお餅は、仏さまにお供えするためのお餅です。販売するものではありません。

・新たな一年の縁起物

新年に福を呼び込む縁起物。

玄関や床の間、

仏間に一年間飾るものです。



「宝来」500円

◇興正寺 新年の授与品

興正寺のお正月限定授与品です。
数には限りがありますのでお早めに！

・来年の干支、「未」にちなんだ縁起物

コロコロとかわいい陶器の未の中におみくじが入っています。今年の運勢を確かめたら、縁起物として一年間おそばに置いてあげてください。



「干支みくじ(未)」
300円

未にちなんで、穏やかな明るい年になるよう願いを込めた絵馬です。



「干支絵馬」700円

とつても小さくって可愛らしい、干支の動物の根付です。ご自分の干支を探してみませんか？



興正寺の破魔矢は弓と矢のセット。
厄を祓い、開運と家内安全を呼び込む縁起物です。



「破魔弓」
1,000円



「七福神人形」
1,500円

職人さんの
手作り！

・お正月と言えばやつぱり七福神！



「七福神
三つ折り色紙」
1,500円

毎年色が変
わります。
来年は何
色？

彩のきれいな絵馬です。



「七福神絵馬」1,000円



早いもので今年も後わずかとなりました。本年はお寺として初めてイオンモールに出店し、色々と不慣れなところもありましたが、地域の皆さまやご来店いたいたの方と尊いご縁を結ぶことができました。

今月は冬休み企画として「ワークショップ」しめ縄つくりなどを行います。また、新規には福袋や舞玉つくりなどお正月らしい行事を予定しております。イオンモールへお越しの際はぜひお立ち寄りくださいませ。

やすらぎ庵通心

終活ノート『マイ・ウェイ』書き方セミナー

イオンモール名古屋茶屋2階
イオンホールにて開催!!申込み受付中
講師:林直子氏
【一般社団法人終活カウンセラーアソシエーション認定カウンセラー】

書き方のコツやポイントを終活カウンセラーアソシエーションが丁寧に解説いたします。柳田僧侶の法話「悔いのないいきかたのために」も行います。

●12月15日(月)

午前の部 10時～12時
午後の部 14時～16時30分

参加費:一、〇〇〇円(『マイ・ウェイ』実費込み)
※『マイ・ウェイ』ご持参の方は無料

持ち物:筆記用具
定員:50名様(申込順先着)

やすらぎ庵にてアンケートご記入で終活ノート『マイ・ウェイ』を差し上げます。
※あなたでもご参加いただけます。お友達やご家族をお説いて上、ぜひご参加ください。
お申し込み、お問い合わせはお電話またはご来店にてお願いいたします。



『しめ縄つくり』イメージ



少し難しかったようですが、皆さん一生懸命作ってくださいました。今回、時間の都合などでご参加いただけなかつた方もいらっしゃいましたので、次回も開催したいと考えています。

やすらぎ庵
ワークショップ

11月3日(月)に行われましたイオンモール3階レクチャースペースでの

「水引き細工」体験には、小さなお子さまからおばあちゃんまで、たくさんの方が参加してくださいました。

《行事ご案内》~どなたでもご参加いただけます~

■法話 今さら聞けない仏事シリーズ 第五回“大晦日とお正月”

大晦日と正月の歴史と上手な迎え方をお話いたします。

●12月10日(水) 午前10時より

◆リラックス座禅講座

毎月30日は座禅の日。リラックス座禅とは呼吸と姿勢を整え、瞑想を行い心身をリラックスさせる僧侶オリジナルの座禅です。忙しい皆さんに心を落ち着かせる術を僧侶が伝授いたします。(イス席でも行えます)

●12月30日(火) 午前10時より

【参加無料】定員15名 各行事は予約優先となります 【申込方法】お電話またはメールにて
※混雑時にはお待ち頂くことが御座います。※日程、内容等は変更になる場合があります。

イオンモール3Fレクチャースペースで行う催事
予約不要・参加無料 14時から行います

◆やすらぎ法話

毎月15日は法話の日。日常に仏教を…内容は毎回変わります。
※今月は終活セミナーのためお休みさせていただきます。

■写経講座

毎月20日は写経の日。写経の意味・書き方など僧侶がお教えいたします。般若心経またはいろは歌が書かれた写経用紙を筆ペンでなぞっています。筆ペンはこちらでご用意いたします。

●12月20日(土)午前10時より

◆ワークショップしめ縄つくり

今年一年を振り返りながら切ったり貼ったり、どなたでも気軽にご参加していただけます。新しい年を手作りのしめ縄でお迎えしませんか。お子さまの冬休みの宿題にもぴったりです。

●12月20日(土)午後2時～5時 ●12月27日(土)午後2時～5時
【参加費300円】各日先着20名(予約不要)

◆いろは写経

やすらぎ庵オリジナルの写経。いろは歌の写経です。漢字とひらがな2種類あります。毎日いつでも行えます。

やすらぎ庵facebookでは各行事の写真や新着情報を掲載しています。ぜひご覧になってください。

近隣地域の会館や施設など、ご要望に応じてお坊さんの出張法話も行っております。詳しくはご相談ください。

八事山興正寺 港別院
やすらぎ庵

TEL 052-364-6271
愛知県名古屋市港区西茶屋2丁目11
イオンモール名古屋茶屋店 1F
営業時間 9時～19時

お問い合わせ TEL 052-364-6271
FAX 052-364-6281
E-mail yasuragian@koushoji.or.jp

寺

宝

通

心

寺宝公開③

板木

「板木」は喜んでいます

西山本堂で開かれている「大隨求明王展」に大隨求明王像などの板木と、この板木で摺られたお札が展示されています。八事文庫には、このように墨で汚れた板木が百五十七枚あります。その中に、江戸時代の年号が確認できるものが十二点あります。板木は、摺り終わると無用となつて処分されることが多く、興正寺のように残されていることが少ないものです。今回初めて「寺宝」として公開され、表舞台で多くの人に出会えることを板木は喜んでいます。

大隨求明王と参詣者の絆を支えた板木

興正寺には大隨求明王に関連する板木が十九枚残されています。ところが、展示されている「大隨求明王像」の板木が一枚あるように、他にも、「大隨求明王真言」が五枚、「七ヶ月参りの証札」が三枚あります。一枚の板木が擦り減ってしまい、次の板木がまた擦り減って使えなくなるくらい多くのお札が摺られていた証拠です。人々が求める様々な願いについても応じていただける興正寺の大隨求明王に参詣し、お札を頂くことでどれだけ多くの人々が安心を得られたことでしょう。

驚いたことに、一人の僧侶が板木を見て「私はこの板木を使ってお札を摺ったことがあります。そして、そのうちの一枚は掛け軸にして今も大切に持っています。」と仰いました。この板木で摺られた古いお札を通して、大隨求明王のお力が今も町のどこかで生きていることを思うと嬉しくなりました。



大隨求明王図と板木



五輪念佛図と板木

諦忍和尚と町人との
絆の証となつた板木

五世住職諦忍和尚関係の

板木は二十四枚あります。藩主の寺から町人の寺へと大きく舵を切られた諦忍和尚が、町の人々に教えをどのように伝えられたか

を知る手掛かりが板木に残されています。
諦忍和尚は、「五輪念佛図」(念佛を一万遍唱えた

ら白丸を塗りつぶし、四十九個塗り終わると地獄で苦しんでいる先祖が極楽往生すると
いわれているお札)や「弘法大師念佛法語」のようにふり仮名をつけて町人にも分かりやすくて教えを広められたようです。また、「血縁札」(諦忍和尚から念佛を受けた人に与えられるお札)を見ていると、諦忍和尚が多くの町の人々との絆を深められていく足音を強く感じます。これも残された板木のお蔭です。

(小出)



竹翠亭 裸絵保存・制作事業

後世に伝える想いと形

境内の奥に位置し、日常の喧騒からかけはなれた憩いの空間として皆さまをお迎えしている竹翠亭には、多くの「ファン」がいらっしゃいます。



竹翠亭 拝観料500円(呈茶付)

随所に趣向が凝らされた建築と季節にあわせた室礼の中でひととき、心穏やかに友人と語り合い、竹林を渡る風や木々のようす眺めるのを楽しみにしてくださる方。法要で来寺され、呈茶のおもてなしに訪れる方。散策の途中で立ち寄り、思いがけない出会いに喜ぶ方などなど。訪れる理由はさまざまですが竹翠亭ですこす時間を楽しんでくださる皆さまのために、お迎えする職員は日々細やかな心配りを忘れません。

準備、打合せを重ね、この二月に「筆入れ式」とともに制作が始まった竹翠亭の裸絵「開山天瑞圓照和尚一代記」。その完成は間近に迫り、最後の一室「大日如来との出会いの場面」を待つばかりとなりました。水墨画家 山田大作先生の筆先から生まれる天瑞和尚のお姿は、興正寺三百余年の歴史の原点とその教えを形にしたものでもあります。百年、二百年、千年とそれらを守り伝えていくためにこれまで取り組んできましたが、その背景には多くの方の想いと支えがあります。

新たな裸絵を制作するにあたり興正寺では広く皆さまにご志納をお願いし、多くの方がそれに応じくださいました。



水墨画家 山田大作先生



八事の全景(床脇) 上部右の裏面にご志納者芳名を記します

ご厚志を賜りました皆さまには、関連する催しのご案内や完成式典のご案内を送付させていただくだけでなく、ご芳名をえてまいります。これは、興正寺開山天瑞圓照和尚の一代記が伝える歴史に名を連ねていただくことでもあります。

日進月歩どころか刻々と新たな技術やモノが生まれる現代において、古いものはそれと氣付かぬうちに消えていきます。そうしたものを残し留めることができるもの寺の力です。

この竹翠亭の裸絵が後世の人々に伝えるものは、携わった人々の想いであります。現在の寺そのものとも言えます。

完成までは今少し時間があります。引き続きのご支援を賜り、より多くの方に名を連ねていただくことを祈念し、完成を待ちたいと思います。(川村)

ポックリさん~大隨求明王展~

会期:平成26年11月5日(水)~平成27年1月13日(火)



会場:西山本堂

(大隨求明王前)

時間:午前9時~午後4時

内容:毎月5日の縁日には多くの参拝者で賑わう興正寺。

「ポックリさん」と親しまれる

大隨求明王について、関係する品とともにご紹介します。

竹翠亭 裸絵保存・制作事業 御志納
御志納 一口 壱千円より
大口御志納 一口 壱拾万円より

裸絵保存・制作事業 志納者ご芳名

橋本恒子 佐藤道代 横山秀吉 早川恵子
高木和邦 高木嘉子 渡邊清子

自平成二十六年十月五日 至平成二十六年十一月八日

御志納を賜り、心より感謝申し上げます。

お問い合わせ先

八事山興正寺 裸絵保存・制作担当
寺務課 川村

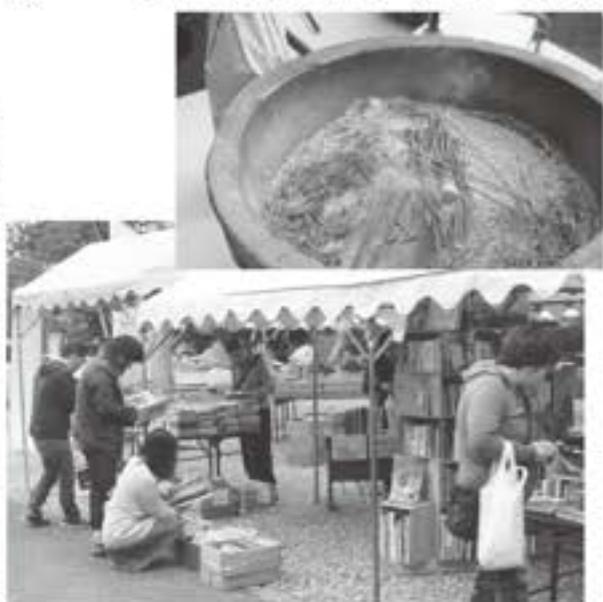
TEL ○ 五一一一八三一一一八〇一

八 事 山

◇古本供養市 10月31日(金)～11月3日(月・祝)

興正寺参道にて古本供養市が行われました。期間中は多くの古本屋テントが並び、お目当ての本を探し参道を回る来寺者の姿が見られました。

また線香護摩祈祷も毎日厳修され、僧侶によって供養された本は新たな読み手のもとへと旅立ってゆきました。



◇企画展「阿部俊一郎の世界」 11月17日(月)～20日(木)

大書院にて阿部俊一郎さんの作品展示が行われました。阿部さんは岐阜県在住、独学で水墨画を学び現在も作画に励む毎日を送られています。

◇名古屋市退職校長会 11月9日(日)

名古屋市退職校長会さまの合同慰靈法要が厳修されました。僧侶による読経が響き本堂に厳かな空気が満ちる中、参加された方々は手を合わせ、亡き方々が安らかならんことをお祈りされました。



◇出張法話 はつらつクラブ

高齢者の元気でいきいきとした暮らしを応援する「昭和区はつらつクラブ」に興正寺の僧侶が出張法話として参加しています。10月30日(木)は鈴村智弘僧侶が、11月18日(火)には三井正優僧侶が訪問し、参加者との交流を深めました。



◇かに供養 10月29日(水)

10月29日(水)本堂にてかに供養が執り行われました。本格的なシーズンの前に蟹や魚介類を供養することで、自然の恵みへの感謝を新たにしようと、株式会社札幌かに本家さまにより毎年開催されています。



◇七五三身体健全祈祷会

11月第1~3週の土日に七五三合同祈祷会が執り行われました。智慧授けの虚空蔵菩薩さま、子どもを守る地蔵菩薩さまがいらっしゃる能満堂にて厳修され、子どもたちの健やかなる成長を願いました。晴れ着に身を包んだ子どもたちとそのご家族の笑顔があふれる、素晴らしい秋の日となりました。



◇竹翠亭コンサート 「後の十三夜～和の調べ～」 11月5日(水)

「後の十三夜」(旧暦11月13日)にあわせ、竹翠亭にて箏と尺八のコンサートが行われました。171年ぶりとなった「奇跡の月」の夕べに50名以上が集まり、竹翠亭に響き渡る和の調べに耳を傾けました。

箏:生田流 宮城派 早川恵子
尺八・笛:郡山疏 竹琳派 加藤条山



◇月釜 11月12日(水)

今年最後となる月釜が11月12日(水)に開催されました。当日は表千家 柴田紹和先生のもと大勢の来場者が訪れ深まる秋の茶席を楽しまれました。



歳時記

◇「結」講座

第2回 水墨画を楽しむ 10月27日(月)

山田静舟先生を講師に、はじめての水墨画に挑戦しました。参加者はの丁寧なご指導の下、思い思いの竹を描きました。



第3回 煎茶道とおもてなし 11月14日(金)

第3回は煎茶道とおもてなし。参加者は緊張感ある凛とした空気の中、煎茶をいただく作法やおもてなしの心を学びました。



もしかすると、各宗派を開かれた祖師のうちで一番残念な扱いを受けているのは臨済宗の栄西禅師なのかもしれません。日本に最初に本格的な中国の禅宗を伝えてその普及に尽力されるも、存命の間には理解者も乏しく、「我が教えは50年後に榮えるだろ」と予言なさります。そしてその通りに、曹洞宗の道元や臨済宗東福寺派の円爾、建長寺派の蘭溪道隆などが輩出して禅宗は一大勢力となり、それに付随して中世を通して日本で茶道や書道や作庭など、禅の文化が花開きます。

確かに、臨済宗とは名の通り、中国の禪僧「臨濟」が創始者であり、栄西が新たに創出したわけではありません。また、そもそも天台宗のはえぬきの密教僧であった栄西には密教に関する著作も多く、また自身が「葉上流」という密教の流派の祖でもありました。

建仁寺を「禪・密・圓(天台)・律」の四宗兼学の道場として建立した志も、今現在の臨済宗の宗風からは違和感を持たれてしまう要因には違いありません。それにもしても、です。二度の入宋経験があり、求法の志も高く、若くから数々の寺院を再建・建立なさって来られた偉大な高僧です。もっと高く評価されてもよいお方だと思います。



泰明庵栄西(1141-1215)
栄西の特徴的な四角い頭成とい
て、この寺にいる出家者は、求道のためなら身命をもなげうつ覺悟が
すでにあります。明日の粥がなくて死んだとしても、なんの悔いがありましょ」と。まさに栄西の禪は、身を糾す戒律をこそ重んじるものでした。

また有名な話ですが、栄西が日本にもたらしたものに「お茶」があります。「喫茶養生記」という書物を時の將軍へ献上しておりますが、その内容は「お茶の記事が半分、あと半分は日本人になじみの深い桑の記事(日本の別称が「扶桑」と言われるよう、桑は日本を象徴する木でもあります)」。その真意は、親しみのある植物の薬効を明かすことによって、すべての日本人がその恩恵を受けられるように、との想いでいた。

栄西は大きな心の持ち主でした。いや、栄西には、誰のなかにでも、大きな心があることがわかつていたのです。誰もが、禪を極めさえすれば。

一日修養会ダイジエスト

聖者の行進⑧ 座禅・臨済宗の開祖「栄西」

担当僧侶 桜田 英伸

その人となりについての逸話を紹介いたします。

孫弟子にあたる道元いわく「栄西は仏法を貫く人であった。あるとき、お寺の食糧が尽きてしまう。たまたま篤信家のからの組のご寄進があり、これで明日の粥の支度ができる」と喜んだ矢先、困窮のあまり寺に施しを求めて来た俗人に、

大事な組を施してしまう。寺の者たちは驚き、師を責めるが、師は平然とお応えした。「世俗の方は支払いができるなければ明日をも知れぬ命となってしまいます。翻つ

て、この寺にいる出家者は、求道のためなら身命をもなげうつ覺悟が

世界の外にも出ることができます。心とは、宇宙を包み込む、かの太虚か、

それとも宇宙の活動力の源たる、かの元気

はどうか。いや、心とは則ち太虚を包み、元気を孕むものなのだ。

天地も私があつてこそ、どこまでも広がる。

日月も私があつてこそ、どこまでも広がる。

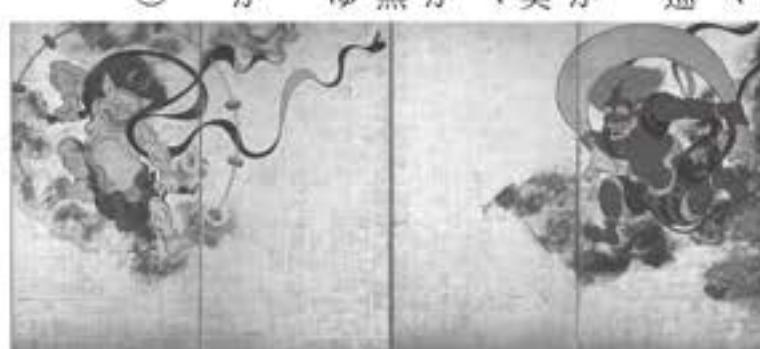
あつてこそ、宇宙を駆け巡る。

季節も私があつてこそ、美しく変化し、

万物も私があつてこそ無限に生れてゆく。

あつてこそ、心や。

(興禪護國論)



※栄西建立の建仁寺には、かの有名な風神雷神図が伝わる。

一日修養会

【法話・聖者の行進】

禅宗・黄檗宗の開祖 隠元・写経
12月6日(土)10時~14時頃

今回は「聖者の行進」と銘打って、各宗派を開かれた祖師や高僧のお話。境内の庭園を眺めながらお料理もお楽しみいただけます。

支 具 料:2,000円(昼食付)
(社の響会員1,000円)

定 員:60名(要予約) 申込締め切り:12月4日(木)
お問合せ・お申込みは、光明殿1F 事務局まで
0120-8510-78

普門園プレミアムブライダルフェア

こんにちは。11月は結婚式も多く、たくさんの方に普門園に足を運んでいただきました。

また、七五三の子達も多く訪れて、幸せに満ちた月でした。

さて今回はフェアのご案内です。

普段なかなか見る事のできない普門園の模擬仏前式＆人前挙式や会場コーディネートが見学できるのは月に一度だけ。

2015年最初のフェアは1/11に開催します。

フェアの内容はこちら

◆FUMON-ENの全てが体験できる会場見学ツアー☆

◆四季折々の自然の姿を感じながら会場見学が楽しめるFUMON-EN見学ツアー☆

◆11:00～人前式(結の儀) 15:00～仏前式(縁結びの儀)

ゲストとの絆が深まるオリジナル仏前式「縁結びの儀」&人前式「結の儀」を体験

◆12:00-14:00 フレンチ試食会

名古屋観光ホテルのシェフが作る王道フレンチ。

結婚式当日は、ゲストのお好みや宴のテーマにふさわしいフレンチを、おふたりのセンスでお選びいただけます。

ご試食はダイジェスト版でご用意。

◆12:00-16:00

和装試着とフォト撮影体験のチャンス！当日のイメージを膨らましてみて♪

記念に残る和装試着体験会☆当日や前撮りイメージの参考に☆



お問い合わせは
CHOUCHOURIBRIDALへ
052-835-0031まで

日頃から、八事山の整備事業にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

「かやの木山のかやの実は いつかこぼれてひろわれて～」という北原白秋の詩をご存じでしょうか。山田耕作作曲で日本歌曲としても歌われてきました。

歌にも歌われるほど日本人になじみのあるこの「かやの木」は、昔と違って今では「一山に一本しか見られない」と言われるほどの幻の樹木なんだそうです。もともと実から油もとれるし、彫刻用の木材としても最高級品だそうですが、育ちが遅くて植林にも向かず、直径1メートルに育つまでに300年かかるそうです。

この樹木が、実は境内にあります。ある意味、興正寺の歴史と共に育ってきたのだと思われます。

葉っぱがとがっていて、さわると痛いです。詩にもなってる実がほとんど見られないのが残念。雌雄別株の種類なので、寺で育っている「かやの木」はどうも雄らしいです。

お恥ずかしい話、すぐそばにいながらそれほど貴重な樹木とは認識しておりませんでした。

教えてくださった方のお話では、これほど街に近い森で珍しい木が何種もあるとは驚きだ…とのこと。

そのほかにも、珍しい木や花のことを参拝の方に教えていただくことがあります。

八事のお山も世代交代を迎えておりますが、こういった貴重な命は大事に次へ伝えていきたいです。



△かやの木

八事のお山の
昨日

今日

あした：



△満開のツワブキの花

里山では、量は多くありませんが柿の木が実を結びました。まず半分収穫して皆さまに秋の恵みをお分けできました。

先日、残りを収穫しに行きましたら、小さな小鳥たちがたくさん来て、一生懸命ついていましたのでそのままにしました。きれいに皮だけ残して食べていましたよ。

先日、寿命を迎えて枯れたエスカレーター脇の紅葉を植え替えました。現在は梅の木が植わっております。次代を担うべく新しく椿や紅葉の植林を始めましたし、森の整備は本当にゆっくりとですが進んでおります。記念樹のお問い合わせもいくつかいただいており、嬉しいです。まだまだ受けますのでよろしくお願いします。

これから八事の森を大切にしていくためにも、できるだけ森のようすを把握していきたいと思います。

木々も花も、雑草と呼ばれる草もキノコや小鳥も…。お山で見かける命について、どんなことでも何かご存じのことがありましたら、ぜひお教えください。

八事のお山は仏さまと皆さまの宝物。毎日ある発見に一喜一憂しつつ、皆さまの力を借りしながら守っていけたらなと思います。

先月載せた白い花は「お茶の花」です。かわいらしい実をつけたので、その写真も載せましょう。

(井上) △形がかわいいお茶の実



記念植樹のお知らせ

お子様の誕生と成長を願う「誕生記念」や人生の節目を祝う「祝祭記念」の植樹を限定でお受けいたします。

奉納料 一万円 (ソメイヨシノ一本・プレート含む)



△プレート
見本



※植樹時期、場所については當山より指定となります。詳細はお問い合わせください。担当: 井上・菅家

竹翠通心

普門園のご案内

- 拝観時間 10時～16時
- 拝観料 500円(お抹茶付)

遊翠の心

- 日程 <写経> 12月8日(月) 12月9日(火) 12月15日(月) 1月14日(水) 1月22日(木)
 <阿息觀> 12月22日(月) 1月27日(火) 午前のみ <茶の湯> 12月16日(火) 初釜 1月15日(木) 19日(月)
 <きもの装い講座> 12月3日(水) 1月14日(水)
- お手持ちのきものを楽しく装うための教室です
- 時間 午前10時～午後2時～各2時間
- 定員 各回10名(要予約)
- 料金 1,000円(お抹茶付)
 きもの装い講座のみ2,000円
- 各教室についての詳細、ご予約は
 竹翠亭までお問い合わせください

12月はお休みです

着物と一緒に楽しもう

初めての方でも普段着から礼装まで楽に美しく着られる
 ようになる「きもの装い講座」を無料体験できます。
 洋服の上から帯結びと一緒にしてみましょう!

無料
体験

毎月21日 興正寺大書院にて 10時～/11時～/13時～(各回30分)

興正寺マルシェ特別企画

今月のご紹介

茶碗「紅安南」永楽家十六代 永楽即全作

もとは安南(ベトナム)のやきもので特徴的な赤色をとらえて紅安南と呼ばれ、発色の薄い染付文様に、赤や緑の上絵具で菊唐草文や星点文が描かれ、見込みには「寿」の一字が赤絵具で書かれています。16～7世紀にかけて多数輸入され茶碗として珍重されました。

これは、千家十職として室町時代から始まる京焼の家元の十六代即全の作で、中国明代焼物の赤絵や金襴手の華やかな意匠、また、南方の交趾焼の鮮やかな色彩を得意として、京焼の世界に大きな花を開かせました。



はつ雪茶会 2014年12月22日(月) 要予約

竹翠亭より、一年間の感謝をこめて。いつもと少し違う雰囲気の中で、お茶を楽しみましょう。

★子どもの部

15時～17時(お好きな時間にお越しください)

定員30名 支具料500円

★大人の部

18時～約1時間(開場 17時30分)

定員30名 支具料1,500円



喫茶 八琴庵



ゆずシフォンケーキ 500円
 (ワンドリンク付き)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

早いものでもう12月「師走」ですね。師走の由来は僧侶(師は、僧侶の意)が仏事で走り回る忙しさ(平安後期編『色葉字類抄』)からという平安期からの説があるようで、毎年この月は本当に忙しいですね。またこれからより一層寒くなっています。

お風邪などひかないよう元気なお顔を八琴庵にお見せに来てください。

さて、今回のご紹介は「定番のスイーツ」シフォンケーキの新しい仲間「ゆずシフォンケーキ」です。

ゆずは「冬至にゆず湯に入る」という風習があるように、香りだけではなく薬味としても広く知られています。効能は多々あるようで、疲労回復や肝臓の働きまで円滑にしてくれるそうです。

これから何かとお酒を飲む機会も多くなり、一年の疲れがどっと出てくる前に「ゆずシフォンケーキ」でおいしく食べて頂きながら健康な体を取り戻しましょう。

トッピングのゆずをお湯に溶かして「ゆず茶」にしても美味しいですよ。ぜひご賞味くださいませ。

営業時間は午前7時から午後5時です。(オーダーストップ午後4時30分)

平成大改修 志納ご芳名

(金、五万円) 河原重春
 (金、壹万円) 佐藤芳江
 (金、五千円) 近藤三郎 中村明子 高橋孝子
 (金、壹千円) 中島幸弘 塩谷政一
 細川節子 澤田敏子

献 瓦

志納ご芳名

(金、壹千円) 市野浩章 山田雅弘 神宮司好子
 宮野洋一 神宮司進 小川昌也
 宮澤紀夫 平子嘉子 阿知波敬子
 城規代子 大野美奈子 植山嘉子
 阪本昭子 植山宜明 居城ミヨ
 松永幸栄 酒井周二 佐藤雅彦
 飯田和子 田中裕子 西下達男
 川村あや子 櫻井孝也 櫻井稔久
 中村辰也 みんなかよし

自 平成二十六年十月十一日
 至 平成二十六年十一月十日

ありがとうございました。
 心より感謝申し上げます。合掌

八事山興正寺

(金、壹万円) 猪井年秋

(題不同 敬称略)

森の御寄進

志納ご芳名

◆終活ノート「マイ・ウェイ」書き方セミナー

12月5日(金)

午前の部 10時～12時 30分
 参加費 一般 1,000円 杜の響会員 500円
 ※マイ・ウェイ持参の方は無料となります
 午前の部は終活個別相談会(要予約・費用別途
 1,000円)となります。

◆終活ノート「マイ・ウェイ」書き方セミナー

講師／林 直子氏
 法話「人生をよりよく生きるために」

お申込・問合せ 0120-8510-78
 講師／八事山興正寺 森田 泰澄師

各講座案内

～どなたでも参加出来ます～



●学ぶ

《仏教絵解説講座》講師 樹田英伸

12月18日 午前10時より

普照殿 華宮

「百箇日・勧進相撲」「一周忌・初盆」※プロジェクター使用

《仏教入門講座》講師 森田泰澄

12月はお休みします。

普照殿 華宮

難しい仏教用語をなるべく使わずにお経を中心勉強します。
 脱線話が多いので気楽に参加できます。

●仏讃歌

《ご詠歌上級者》講師 鈴村隆弘 光明殿

12月10日・19日 午後1時半より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

《ご詠歌初級者》講師 鈴村智弘 光明殿

12月7日・14日・21日 午後2時より ※21日は本堂出仕

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

●体験する

《阿息観》

講師 杉浦宣秀

12月10日・20日 午後2時より 普照殿

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

《写経・写仏》

12月21日 午前11時半より

光明殿

法話を文えながら、写経・写仏を実習します。

※日程・会場は変更する場合がございます。
 事前にお電話でご確認ください。

七七日忌(四十九日)忌明け 西山海良

○七七日忌、忌明けとは

亡くなつて49日後(ただしこの時は、亡くなつた日を「1日経過」と数えますので、一般的な数え方だと48日後になります)を、忌明けまたは満中陰とよびます。

この日は故人の生まれ変わりが決まる重要な日とされます。

この日に僧侶にお経を勤めて頂き、遺族、親族が一同に会して盛大に法要を行うのがしきたりです。

○四十九日の意味

仏教には、「四有」という考え方があります。人が生まれる事を「生有」、生まれてから死ぬまでの間を「本有」、人が死ぬ事を「死有」、死んでから次の生に向かうまでの間を「中有」(中陰)といいます。この「中有」にあたるのが四十九日です。この49日間という時間は、残された遺族の別れの悲しみを癒し、段々と心を落ち着かせ亡くなつた人の死と向き合えるようになる期間でもあります。

○忌明け法要の準備

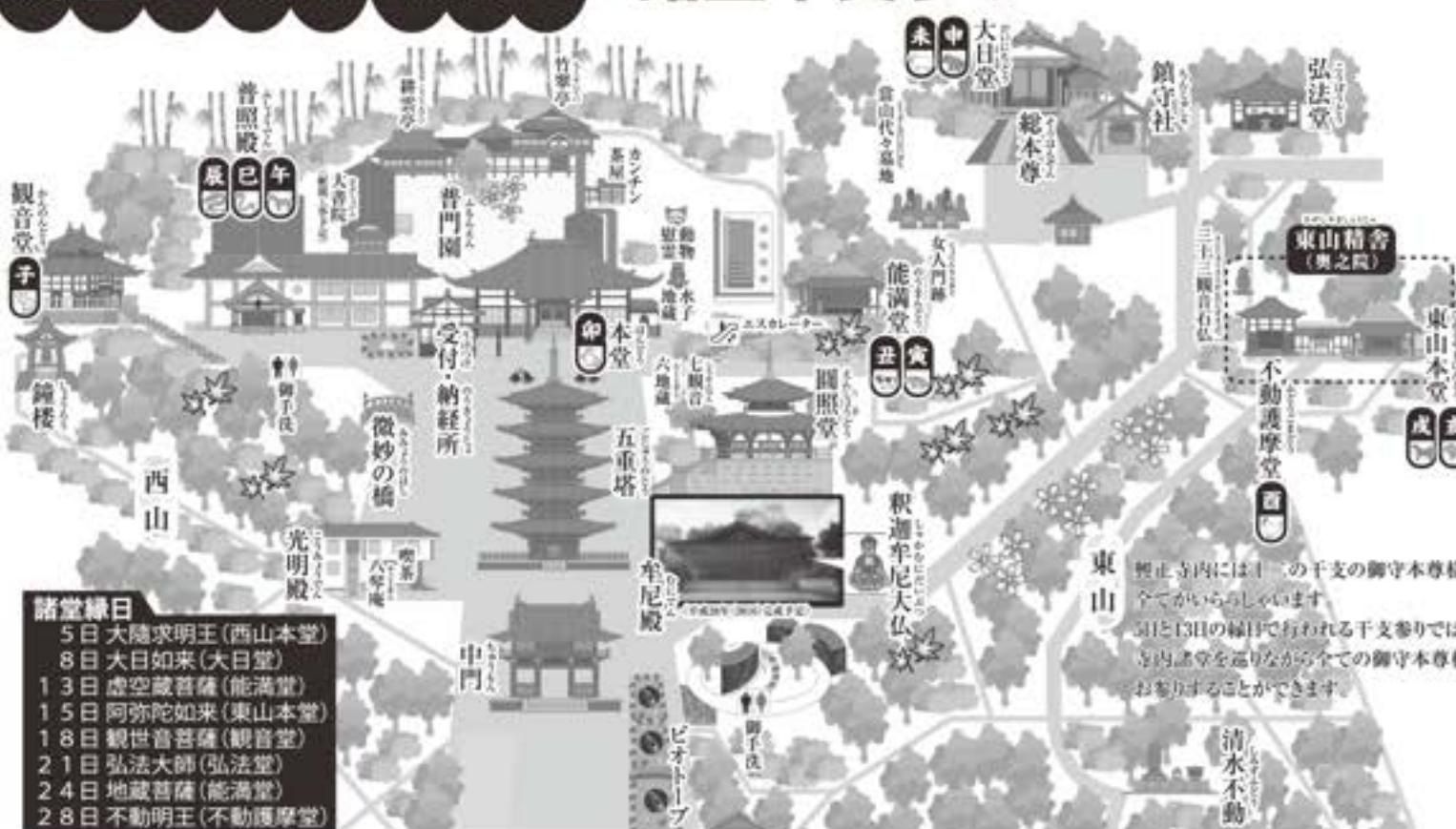
1. 菩提寺の僧侶と相談して日取りを決めます。日取りは皆が集まりやすい直前の土、日曜日に行う事が多いです。
2. 関係者に連絡し、人数を把握します。
3. 場所は、自宅か菩提寺などで行います。
4. 式を終えたあとに会食をする席の式場を手配
5. 本位牌や仏壇の用意
6. 参列者へのお礼の引き物(手土産)の用意
7. 白木の位牌から漆の塗位牌を作つて、法要の後仏壇に納められるので、この日までに塗位牌は用意しておきます。新しく仏壇を用意する場合も忌明法要までに合わせて用意しておきます。

現在では、この忌明けまでが喪中とするのが一般的で、これを終えれば親族は通常の生活に戻つてよいと考えられています。

お坊さんが教えるご葬儀コラム⑫

縁日さんぽ 最終回

諸堂干支参り



12月のマルシエお料理教室テーマ「パーティー料理」

●ごちそうアランチーニ ●クリスマスホワイトシチュード

要予約:〇五二一八三三一一八〇一 (申し込み〆切:毎月十九日)
定員:二十名 参加費:一、五〇〇円 持ち物:エプロン・筆記用具

お坊さんに縁日の由来や仏さまのことをお聞きしてきた「縁日さんぽ」。今月はいよいよ最終回、諸堂干支参りについてご紹介します。

これまで見てきたお堂を年末年始、ぐるりと参拝してみてはいかがでしょう?

干支には守り御本尊がある!

私たちの暮らしに深く馴染んでいる干支。この干支ごとに守り御本尊があるのはご存知ですか? 八事山興正寺には、十二の干支御本尊が実はすべていらっしゃいます。

気持ちも新たになる年末年始。ご自分の、またご家族の守り御本尊にお参りして新たな一年の健やかなることを祈願なさってはいかがでしょうか。

ひとつお参りするごとに、参拝印(各100円)がいただけます。



△少し立ち止まって、興正寺のみどころを解説。

新春干支参り

興正寺の縁日にて催されております干支参り、お正月は特別バージョンで登場! 十二支の守り本尊さま(八体)が奉られております諸堂を自由にお参りください。朱印が揃うと、僧侶による裏書きがいただけます! 縁起物のお参りの色紙として、一年間のご家庭の安全を守ってくださること間違いなし! 家族みんなで干支参りをしよう!

1月1日(木)~4日(日) 10時~15時 各諸堂

※本堂横受け付けにて、専用特別色紙を授与いたします(1,000円/朱印代を含む)



△平成27年末年の新春干支参り色紙
朱印を押してめぐります。

永代千基燈籠・永代特別燈籠のご案内

燈籠とは、智慧の灯火を意味しており萬民豊樂・先祖供養・慈父悲母、そしてご自身の願いのために永代に奉ります。奉納いただきました燈籠は興正寺本堂や圓照堂、各御堂にて皆さまの心の拠り所として光を灯し続けます。



完成間近！

竹翠亭襖絵保存・制作事業への御志納のお願い

現在制作中の『開山天瑞圓照和尚一代記』は水墨画家 山田大作先生の筆によるものです。その襖絵(裏面)には御志納いただいた皆さまのご芳名を記してまいります。茶室 竹翠亭の新たな襖絵制作にご助力をお願いいたします。

御志納 一口 壱千円 大口志納 一口 壱拾万円

*何口でもお申込みいただけます。

お問い合わせ先 八事山興正寺
襖絵保存・制作担当 寺務課・川村 TEL 052-832-2801



過去・現在・未来の三千仏の名号を唱え、礼拝する修行です。當山においては8月の布薩会と並ぶ、最古の法会となります。どなたでもご参加できます。

1日 8時(開白) 9時 12時	4日 9時 10時30分 14時
2日 9時 14時	5日 10時30分(結願)
3日 9時 10時30分 14時	※結願日はご参加できません

「隨求の悲願は、求める子を得せしめ、安産をもたらす」

大隨求明王の安産祈願

特別護摩祈祷厳修

戌の日 安産合同祈祷会(12月・1月)

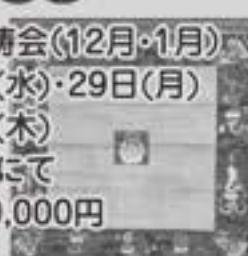
12月5日(金)・17日(水)・29日(月)

1月10日(土)・22日(木)

14時より 西山本堂にて

祈祷料 5,000円・10,000円

(安産木札授与)



古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。

現代、興正寺においても子宝・安産法薬として「大隨求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を勧めております。

*腹帯にお名前をお書きしますので、事前のご予約
(電話・来寺)をお願いいたします TEL.052-832-2801

能満堂「虚空藏菩薩」合格祈願会



虚空藏菩薩は智慧や知識、記憶のご利益をもたらす「智慧守り」として古くから篤く信仰されてきました。興正寺の合格祈願はこの虚空藏菩薩へ祈願いたします。

平成26年	12月14日(日)・28日(日)
平成27年	1月11日(日)・25日(日)
	2月 8日(日)・22日(日)

午後2時より能満堂にて 祈祷料 5,000円

団体祈禱のご案内

八事山興正寺では団体祈禱および団体車両祈禱を承っております。
商売繁昌・身体健全・交通安全など皆さまの願意のご祈禱をさせていただきます。

日時/要相談 人数・台数/随意 出張/可能

◆ご祈祷料

僧侶3名以上 金参万円
僧侶5名以上 金五万円

僧侶7名以上 金壱拾万円
いずれも御札(車両祈禱は交通安全お守り)付

お問い合わせ 052-832-2801 担当 高木



12月の行事カレンダー

普門圓休圓日 行事・挙式により終日拝観できません
12/14(日)・20日(土)

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5 戌の日	6
赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口
	○三千仏名会 8:00(開白) 9:00/12:00	○三千仏名会 9:00/14:00	○三千仏名会 9:00/10:30/14:00 ▽遊翠の心 着物装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料2,000円	○三千仏名会 9:00/10:30/14:00	○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○三千仏名会 10:30 結願 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ☆終活セミナー 詳細はp.13	☆一日修養会 10:00 普照殿 支具料2,000円 要予約
7 大雪	8	9	10	11	12	13
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	○大日如来緑日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘 ▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀			○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 普照殿 10:00 諸堂干支参り
14	15	16	17 戌の日	18	19	20
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
○合格祈願会 14:00 能満堂 ▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	○東山奥之院緑日 13:00 奥の院 善之綱おくり ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 小松永明	▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円	○安産合同祈禱会 14:00 本堂	○觀世音菩薩緑日 13:00 觀音堂 護摩祈禱 法話 ▽仏教絵解き講座 10:00 普照殿 樹田 英伸	▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘	▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀
21 興正寺マルシェ	22 冬至	23	24	25	26	27
先負	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
○弘法大師緑日 (終い弘法) 10:30 弘法堂 読経・法話 ○月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ▽ご詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘	▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良 ★はつ雪茶会 竹翠亭 要予約 15:00-17:00 子どもの部 支具料 500円 18:00 大人の部 支具料 1,500円		○地藏菩薩緑日 13:00 能満堂 大数珠おくり・法話 紙芝居			
28	29 戌の日	30	31	1	2	3
大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安
○不動明王緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱・法話 ○合格祈願会 14:00 能満堂 ★年忘れ大餅つき大会 10:00 五重塔前	○安産合同祈禱会 14:00 本堂		★第九コンサート 22:30 五重塔横危除階段 ★除夜の鐘 23:45 鐘楼	○新年初祈禱会 0:00/1:00 10:00/11:00 23:45 鐘楼	○新年初祈禱会 10:00/11:00 13:00/15:00	○新年初祈禱会 10:00/11:00 13:00/15:00
			○圓照堂合同供養 8:00/10:00/12:00/14:00/16:00			

➡ 第九コンサート・除夜の鐘 ➡

12月31日

- ◆第九コンサート 22時30分頃(五重塔横危除階段)
- ◆除夜の鐘 23時45分頃(100円/護摩木付き/先着順)
- 五重塔横の危除階段で熱演される合唱コンサートは22時30分から。
コンサート後には「除夜の鐘」に多くの参拝者が訪れます。

しんねん はつ き とう ま
新年初祈禱会 本堂にて特別護摩祈禱厳修

1月1日(木) 0時,1時,10時,11時,13時,15時
1月2日(金)~4日(日) 10時,11時,13時,15時
年はじめに、みなさま方の幸せや健康・心願成就をご祈祷申し上げます。
ご家族そろって気持ち新たに、平成27年をお迎えください。